

二高ライブラリー情報

2014.12 第7号

♪読書会報告②♪

三年生はテストお疲れ様でした。二年生は修学旅行、お帰りなさい。一年生も二年生の修学旅行期間中先輩がいない中でがんばっていました。さて一、二年生の朝読書が10月14日(火)から20日(月)まで行われ、10月21日のLHRでクラスごとに読書会を開催しました。ライブラリー情報の前月号では一年生の読書会報告を掲載しました。今月号では二年生の読書会で話し合われた内容と図書委員の感想をお知らせしたいと思います。読書会の開催については各クラスの図書委員ががんばってくれました。読書会用の図書の選定から、事前に皆さんに配布した読書会シートの質問内容を考えてくれ、実際の読書会の司会・記録の仕事もこなしてくれました。図書委員の尽力もあり、各クラスの読書会は有意義な時間をすごせたのではないのでしょうか。

2-A

タイトル 『ふたり』バッテリー 作者 赤川 次郎

話し合いのポイント

- 1 どうして実加の頭の中から姉の声がしたのか
- 2 なぜ、「お姉ちゃんなんかどこかへ行っちゃえ！」で姉が消えてしまったのか
- 3 本を読んで実加の家族はどうなったか

まとめ

1のトピックについては、実加の中で姉が必要だったから。2のトピックについては姉から自立したから。3のトピックについては再び幸せに暮らした。

図書委員の感想

皆さんの意見を聞いて、色々な感じ方や読み取り方があったり、自分で気づけなかった点などがありとても楽しかったです。



2-B

タイトル 『キッチン』 作者 吉本 ばなな

話し合いのポイント

- 1 この本で「台所」はどのような意味を持っているか
- 2 作中の二つの死に対して、登場人物の言動を含めどう感じたか
- 3 人が生きること、死ぬことについてどう考えるか

まとめ

ほとんどの人が、主人公が孤独から立ち直ろうとする姿に感動したとっていた。命の重みを改めて感じた。

図書委員の感想

発表を聞いていて、ほとんどの班が「勇気をもらった」、「命の大切さを感じた」などを話していて、前向きで良い感想だと思いました。私はこれを読んでとてもやるせなくて辛かったし、これからも主人公は辛い思いをするのだろうなと感じました。



2-C

タイトル 『銀河鉄道の夜』 作者 宮沢 賢治

話し合いの内容

- 1 文章の書き方の特徴は何か
- 2 ジョバンニの心情はどのように変化したか
- 3 この作品のテーマは何か

まとめ

銀河鉄道の夜は幸福や生と死や仲間の出会いと別れなどをテーマにした物語である。

図書委員の感想

みんな意見を活発に出してくれたので読書会がうまく進んで良かった。私たちの質問に答えるために本をちゃんと読んで来てくれたとも思うので良かった。今回の読書会によって、みんなが本をもっと読んでくれれば良いと思った。



2-D

タイトル 『斜陽』 作者 太宰 治

話し合いの内容

- 1 この文章を読んでどのような印象を受けましたか
- 2 何度も出てくる「ギロチン、ギロチン、シュルシュルシュ」という文章にはどのような効果があると思いますか
- 3 「斜陽」は太宰治にとってどのような意味を持っていたと思いますか

まとめ

全体的に暗い印象を感じられる中、太宰本人の生き方を思い浮かべさせる本でした。

図書委員の感想

一人一人が読み込んできてくれたおかげで会をスムーズに進行することができた。話し合いでは自分とは違う意見を聴きより斜陽という作品について理解を深められていったと感じた。



2-E

タイトル 『放課後の音符』 作者 山田 詠美

話し合いの内容

- 1 この文章を読んでどのような感想を受けましたか。
- 2 短編の中で一番印象に残った話は何ですか、またその理由は何ですか。
- 3 現代の私たちとの違いは何ですか。また、おなじところは何か。

まとめ

いつの時代も女子は恋に対して一生懸命である。現代の女子高生との価値観が違っても、人間関係のごたごたは一緒である。

図書委員の感想

割と前から本を読んでいる人が多くて、スムーズに進行することができた。現代の女子高生と重なっている部分も多かったため読みやすかったし、様々な愛の形があって奥が深いなと思った。

